

今を未来に

避難訓練をしました。(9月6日)

9月6日、朝3時8分、北海道で大きな地震が起きました。朝のニュースは全てがその報道でしたから、多くの子どもたちがそのニュースを見て、学校に来たようです。この日、保々小学校では大きな地震が突然起こり、放送設備が使えないということを想定して、避難訓練を行いました。

9月4日の台風21号の被害の全容がまだ明らかにならず、5日の日のニュースは関西国際空港で起きた災害や猛烈な風と高潮によってもたらされた被害状況の報道が中心でした。保々小学校は中庭の大きな木が真ん中から折れてしまったり、運動場にたくさんの枝や葉が落ちたりして、その片づけに一日かかってしまいました。それでも、停電もなかったので、5日は平常通りに学校を再開することができました。ただ、給食については、米飯を納入している業者さんの方で被害があり、昼までに届かないということから予備日給食のスパゲッティに変更となってしまいました。

そんな対応をしていた翌日、避難訓練を予定していた日に、あの北海道の地震でした。改めて、この国に住む以上、災害からは逃れることができないなあと思いましたし、子どもたちも連続して起こる災害のニュースを見ていたためか、本当に真剣な様子で避難訓練に臨みました。

全児童の安全確認後、校長から話す時間をもらうのですが、今回は私の枕元に置いてある避難袋を持って来て、その中にいつも話をしていて靴や食料1日分、懐中電灯、軍手、マスク、防寒シートなどが入っていて、袋そのものが水をくむタンクや空気枕になることを紹介しました。「みんなの枕元にも、一人ひとつこうした防災袋がありますか？」と聞いたところ、「ない。」という返事がほとんどでした。枕元に靴を用意してある子はこの5年間で増えてきたのですが、防災袋となると「家に一つある」というのが現実なのかもしれません。でも、家の内外に防災グッズは分けておいた方がよいとも言われていますので、一度子ども用の防災袋も検討してみてください。

運動会の練習、順調に進んでいます。

かなり厳しい残暑になるのではないかとと言われていましたが、幸いなことに、熱中症計が警報音を出す日が一日もなく、運動会の練習は順調に進んでいます。今は、どの学年もダンスや組立体操の練習が中心になっていますが、天候が不順なため運動場での場所決めの練習を早くに行ったり、徒競走・団体競技の練習を行ったりして自主的な練習が休み時間にできるようにと取り組んでいる学年もあります。

また、練習中はもちろんですが、練習の間に設けている給水タイムの過ごし方についても、けがにつながるがないように、子どもたちには伝えています。

少しずつ体も疲れてくるころです。また、寒暖の差が激しく、風邪を引いている子もいます。各家庭で十分に休息がとれるように、また休みの日にけがをすることがないように、ご配慮いただきますよう、よろしくお祈りします。



校長先生、これって何？

先日の台風の風で、運動場の東側にあるカリンの木の実が落ちて、4年生の子が拾ってきてくれました。もっと季節が進むと黄色くなるのですが、まだ緑色の固い実でした。「一度切ってみよか？」と言うと、嬉しそうにしてくれたので、包丁で切ることにしました。ところが、包丁の刃が折れないかと心配するぐらい固くて、なかなか切れませんでした。横から、上から、下から、何度も包丁を入れ直すと、やっと半分に分れました。私も今まで中を確かめたことがなかったので、種がぎっしりと真ん中につまみついていて、甘い美味しそうな臭いがしてきたので、本当は食べられるかなあと思い、ちょっと調べてみました。

カリンは中国が原産とされるバラ科の落葉樹になる果実で、古くから薬用として用いられていたようです。日本でも全国で栽培されていて、庭園樹としても人気があり、実が沢山なった木をよく見かけます。ネットには次のようなことが紹介されていました。

●生では食べられません

カリンは果物と言っても、非常に硬い上、渋くて生では食べられません。香りを楽しむ、また、薬用成分を利用するような使い方になります。

●カリンの果実の特徴

カリンの最大の特徴は独特の芳しい香りではないでしょうか。のど飴やかりん酒など、薬効成分と共にこの香りを活かした加工に用いられています。果肉は薄い黄色から橙黄色でとても固く、中心部に縦に5本の空洞があり、その中に無数の種が入っています。生のまま果肉をかじるととても渋く、また、繊維質が固く口に残って食べられません。



4年生の子が持って来てくれたカリンは種がまだ白かったですね。

●カリンの使い道

カリンは生のままでは歯が折れそうなくらい固く、また渋味があつて食べられません。加熱したり、お酒に浸けこんでエキス分をとるようにします。一般的には花梨酒やジャムなどにされています。煮出してシロップにし、ソースに仕上げたり、グラニテやシャーベットにもします。

より甘みが少なく、氷に近い物がグラニテです。フランス語で「ざらざらした」「ごつごつした」という意味があり、氷を削るようなニュアンスがあり、かき氷に近い物を指します。

校長先生、ありがとう。

30分休みのことです。2年生の子が2人やって来て、「校長先生、一人で草を抜いてくれてありがとう。」と言いに来てくれました。とっさのことでしたら「ありがとう。また頑張って草を抜きますね。」と返事をしましたが、用務員の加藤さんや教頭先生、たくさんの先生方が手伝ってくださることを、話すことができませんでした。サッカー部や野球部の保護者の方が、子どもたちの練習中に運動場の隅の除草をしてくださったりもしています。また、6年生の子が100m走の後に草を抜いてくれたり、4年生の子が学級で時間をとって抜きに来てくれたりもしています。

草ぬきを予定していた日に朝まで雨が降っていて、たくさんの水たまりがあったので、学年・学級で30分程度の時間をとって、草ぬきをすることになりました。学級によっては、掃除当番のグループ分けに「運動場」という掃除場所を増やして、掃除時間をうまく活用するという学級もあります。22日の運動会までに、走りやすい運動場にしていきたいと思っています。